

【速報】 18年ぶりの切子展、2027年春にサントリー美術館にて開催！**六本木開館20周年記念展 I
切子 KIRIKO 開催****会期：2027年3月10日(水)～5月16日(日) 会場：サントリー美術館（東京・六本木）**

切子蓋付鉢（部分） 明治13年(1880)箱書

切子藍色被船形鉢（部分） 薩摩藩 江戸時代 19世紀
いずれもサントリー美術館 撮影：木奥恵三

サントリー美術館（東京・六本木）は、2027年3月10日(水)から5月16日(日)まで、
「六本木開館20周年記念展 I 切子 KIRIKO」を開催します。

ヨーロッパのカットガラスへの憧れを原動力として、江戸時代後期に誕生した日本独自の手彫りのカットガラス——切子。切子は、蘭書から得た知識に学びながら、以前より国内で行われていた技術を改良・応用することで生まれた、画期的な存在でした。本展では、江戸時代後期から明治時代前期に至る切子の技術的な〈すごさ〉と、その製造が行われた京都・大坂、江戸、そして薩摩・長州・佐賀の各藩の様相に、最新の研究から迫ります。

サントリー美術館は開館以来、ガラスをコレクションの柱のひとつとして収集・調査研究に取り組み、展覧会を通してその魅力を発信してきました。本展は当館にとって18年ぶりの切子展であり、六本木開館20周年記念展の第1弾となります。当館の切子コレクションはもちろん、日本各地に伝わった切子の名品や本展初出品の知られざる名品まで、約160件の作品が一堂に会する貴重な機会です。



（左から）切子大皿 薩摩藩 江戸時代 19世紀／切子蓋付鉢 明治13年（1880）箱書／切子紅色被皿 薩摩藩 江戸時代 19世紀／切子藍色被船形鉢 薩摩藩 江戸時代 19世紀／切子綠色被栓付瓶 薩摩藩 江戸時代 19世紀
すべてサントリー美術館 撮影：木奥恵三

本展の詳細は、2026年12月頃にお知らせする予定です。

開催概要

【展覧会名】六本木開館20周年記念展 I 切子 KIRIKO

【会 期】2027年3月10日(水)～5月16日(日)
【会 場】サントリー美術館 〒107-8643 東京都港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3階
【開館時間】10時～18時（金曜日および4月28日(水)～5月4日(火・祝)、5月15日(土)は20時まで開館）
※入館は閉館30分前まで
【休 館 日】火曜日（5月4日は20時まで開館）
【入 館 料】一般1,800円（1,600円） 大学生1,200円（1,000円） 高校生1,000円（800円）
※中学生以下無料 ※（ ）内は前売料金
【主 催】サントリー美術館

※会期中、展示替を行います。
※2026年7月23日現在の情報です。今後、変更する可能性があります。

本展の詳細は、2026年12月頃にお知らせする予定です。

▼広報用画像の貸出

【1】～【5】を本展の広報用画像として貸出いたします。
※本展の広報目的での使用に限ります。使用にあたっては、画像ダウンロードページのお願い・禁止事項をご確認ください。

展覧会画像ダウンロードお申し込みURL：
<https://ssl1.suntory.co.jp/apl/btcr/cp/CSUNC2004012/form>

 【1】切子大皿 薩摩藩 江戸時代 19世紀 サントリー美術館 撮影：木奥恵三	 【2】切子三ツ組盃・盃台 江戸時代後期～明治時代前期 19世紀 サントリー美術館 撮影：木奥恵三	 【3】切子文具揃 江戸時代後期～明治時代前期 19世紀 サントリー美術館 撮影：木奥恵三
 【4】切子紅色被皿 薩摩藩 江戸時代 19世紀 サントリー美術館 撮影：木奥恵三	 【5】切子藍色被船形鉢 薩摩藩 江戸時代 19世紀 サントリー美術館 撮影：木奥恵三	

《 報道関係者お問い合わせ 》 サントリー美術館 広報部 E-mail：sma-pr@suntory.co.jp
一般お問い合わせ・ウェブサイト：
サントリー美術館 TEL：03-3479-8600 URL：<https://www.suntory.co.jp/sma/>